

学校関係者評価報告書 (令和6年度)

【評価期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日】

学校法人 都築学園
お茶の水はりきゅう専門学校

令和7年12月

【1】 学校関係者評価の実施について

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って実施した「自己点検・評価報告書（令和6年度）」に基づいて、卒業生・教育関係者等の学校関係者を選任し、今後の改善に向けて評価とご助言をいただいた。

評価委員には、学校運営状況をまとめた資料を配布し、自己点検・評価報告書の内容について説明した上で意見等を聴取した。

【2】 学校関係者評価委員会委員

氏 名	所 属	選出区分	任 期
杉島 実	私立自由学園中等部・高等部講師	教育関係者	2年
井原 義高	私立あずさ第一高等学校柏キャンパス 副キャンパス長	教育関係者	2年
吉江 史年	笹塚鍼灸整骨院 院長	卒業生	2年

※ 委員長は杉島 実先生

【3】 本校出席者（教職員）

氏 名	役 職 ・ 所 属 等
大山 良治	校長
原田 晃	副校長・学科長
笹井 彰	事務長・広報課長
白川 一敬	経理課長(日本薬科大学)
吉岡 誠	教学課長
向田 順子	総務課長

【4】 日時・場所

令和7年12月12日（金） 10時00分～11時30分
お茶の水はりきゅう専門学校 図書室

【5】 委員会次第

- (1) 司会進行・・・向田
- (2) 開会・・・笹井
- (3) 校長挨拶・・・大山
- (4) 評価委員の紹介・・・各委員・本校出席者自己紹介
- (5) 学校関係者評価について概要説明・・・笹井
- (6) 令和6年度自己点検・評価報告・・・本校出席者
- (7) 意見交換・・・各委員・本校出席者
- (8) 閉会・・・笹井

1 教育理念・目的・育成人材像等

基準	評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	4
1-2	学校の特色はなにか	4
1-3	学校の将来構想を抱いているか	4

評価結果	適切：○○○	不適切：
------	--------	------

自由記述(委員より)

- ・学校の将来構想として、グローバル化、高齢化など時代に即した鍼灸師の育成を念頭に置いており、今後西洋医学ではカバーできない部分の医療としてニーズはさらに高まっていくと考えます。また、PC等でのeラーニングシステムの拡充も魅力的に感じます。
- ・何でも相談できる先生や年齢を問わない学生同士の交流がとても印象に残っており、今もその当時から変わらない教育体制が維持されていることを嬉しく感じた。(卒業生)

2 学校運営

基準	評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
2-1	運営方針は定められているか	4
2-2	事業計画は定められているか	4
2-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4
2-4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4
2-5	意思決定システムは確立されているか	4

2-6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
-----	---------------------------	---

評価結果	適切：〇〇〇	不適切：
------	--------	------

自由記述(委員より)

- ・前年度同様、手厚い広報ミーティングで、広報活動の重要性を教職員一同が認識し、全校を上げて取り組んでおられる様子がよくわかります。
- ・教職員間の連携をスムーズにするミーティングが適切に行われている。

3 教育活動

基準	評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
3-1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4
3-2	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	4
3-3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4
3-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4
3-5	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
3-6	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
3-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
3-8	資格取得の指導体制はあるか	4

評価結果	適切：〇〇〇	不適切：
------	--------	------

自由記述(委員より)

- ・前年度同様、質の高い授業が行われている様子がよく見てとれます。ここ数年の資格取得率の向上をみるにつけ、先生方の熱心なご指導を感じます。
- ・入学定員に対して十分な規模で授業がなされている。
- ・履修科目免除により、キャリアアップを目指す学生に寄り添う体制を構築している。
- ・教科ごとにステップアップできるようにきちんとカリキュラムが組まれていると感じます。

4 教育成果

基準	評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
4-1	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4
4-3	退学率の低減が図られているか	4
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4

評価結果	適切：○○○	不適切：
------	--------	------

自由記述(委員より)

- ・就職率が非常に高いこと、国試合格率がはり師きゅう師とも9割超えを達成していることなど高く評価できます。
- ・スクールカウンセラーも然ることながら担任のきめ細やかな指導により悩みの早期発見、退学率の低減が見てとれます。
- ・毎年国試の合格率が高く、卒業生として母校が質の高い授業を維持していることを誇りに思います。(卒業生)

5 学生支援

基準	評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
5-1	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4

5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4
5-3	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4
5-6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4
5-7	保護者と適切に連携しているか	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4

評価結果	適切：〇〇〇	不適切：
------	--------	------

自由記述(委員より)

- ・就職フォローや教員養成科への進学などステップアップ指導からフォローアップ指導まで細部にわたる指導体制がみられる。
- ・臨床心理士の資格を持つスクールカウンセラーが毎週（予約制）配置されていることは学生にとって非常に心強いことだろうと思います。
- ・在学中は、学習面や進路について色々と相談にのって頂きました。（卒業生）

6 教育環境

基準	評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
6-2	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか。	3

評価結果	適切：〇〇〇	不適切：
------	--------	------

自由記述(委員より)

- ・系列大学の資源を活用するなど法人全体でのメリットを十分に活かしている。
- ・特に防災用品の整備、危機管理体制の整備等計画的に実施されていることは、学生にとっても心強く感じられることと思います。

7 学生の募集と受け入れ

基準	評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
7-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	4

評価結果	適切：○○○	不適切：
------	--------	------

自由記述(委員より)

- ・18歳人口に左右されず学生募集をし、その成果がみられる。
- ・近年の傾向として紙媒体だけでなく、SNS等の各種メディアに受験生は反応しやすくなっており、学校説明会やオープンキャンパスの計画的な実施、受験雑誌への掲載のみならず、既に参画されているインスタ、X等への積極的な動画掲載や情報の発信が求められて行くでしょう。

8 財務

基準	評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4

8-3	財務について会計監査が適正におこなわれているか	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

評価結果	適切：〇〇〇	不適切：
------	--------	------

自由記述(委員より)

- ・充足率も安定傾向にあり、財務基盤は安定しているといえます。
- ・今年度の定員充足率は96.4%と驚異の数字を達成しております。私立学校経験者としては驚くべきことであり、時代、社会のニーズがある学校だと感じます。

9 法令等の遵守

基準	評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
9-4	自己点検・自己評価結果の公開はしているか	4

評価結果	適切：〇〇〇	不適切：
------	--------	------

自由記述(委員より)

- ・特に問題ないと思います。
- ・昨年度同様、適切に項目を行なっている。

10 社会貢献

基準	評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3

評価結果	適切：○○○	不適切：
------	--------	------

自由記述(委員より)

- ・今の時代、学生のボランティア活動は難しいものかもしれませんが、今後ともできる範囲で実施していただけたらと思います。
- ・附属鍼灸治療院で治療を受けた近隣の患者様に喜ばれているのは、良いことだと思います。

総括(委員より)

- ・国家試験合格率がはり師・きゅう師ともほぼ100%であり、定員充足率も安定して高く、非常に充実した学校であることがよく見て取れます。
- 鍼灸という独自の医療分野を持ち、また西洋医学では手の届かないところを担う人材を育てる御校のご活躍を今後とも応援して行きたいと思えます。

学校関係者評価委員	委員長	杉島	実
学校関係者評価委員	委員	井原	義高
学校関係者評価委員	委員	吉江	史年
本校出席者	校長	大山	良治
	副校長・学科長	原田	晃
	事務長・広報課長	笹井	彰
	経理課長(日薬大)	白川	一敬
	教学課長	吉岡	誠
	総務課長	向田	順子